

ハクビシン



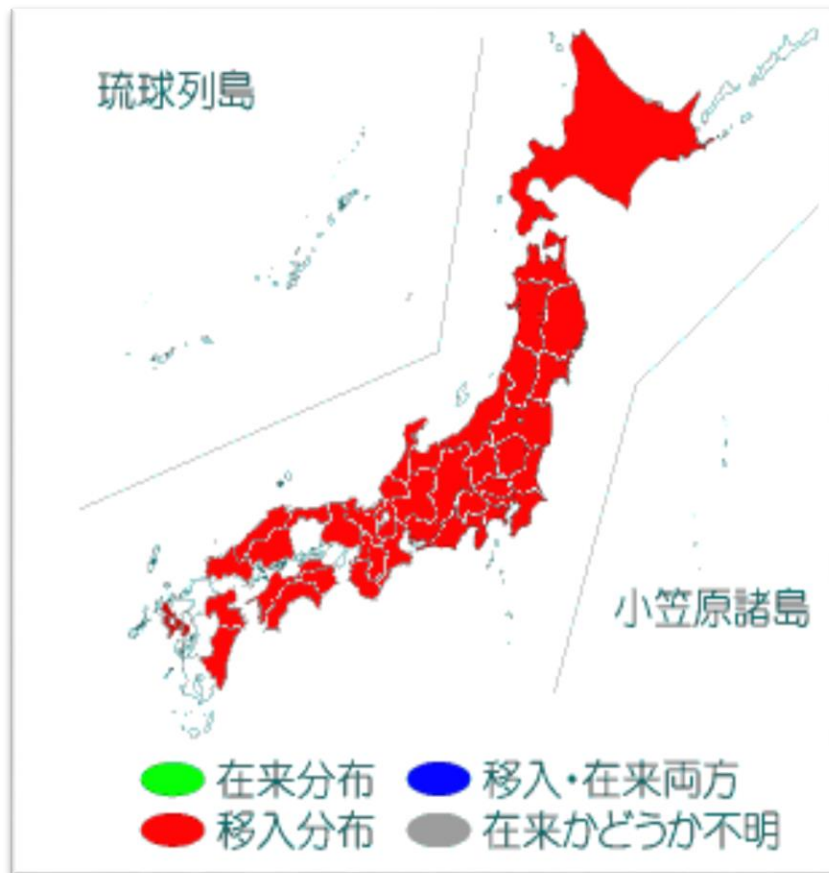
学名 : *PAGUMA LARVATA*

食肉目（ネコ目） ジャコウネコ科ハクビシン

生態

- ・ 夜行性
- ・ 東南アジアから中国南東部原産で明治以前に入ってきた動物でもともと日本にいなかった→**外来種**
- ・ ほぼ年中出産をすることが可能
 - 1回の産仔数：1～4頭
 - 性成熟：生後10～12ヶ月
 - 妊娠期間：約2か月
- ・ 寿命は約10年（動物園などの飼育個体は15～20年程度）

分布



- ・ ほぼ全国に分布する日本では明治以前に四国・静岡県・山梨県・福島県にまばらに分布していたものが、徐々に分布域を拡大したといわれている

- ・ 山間部だけではなく郊外でもみられる

出典：
国立環境研究法人国立環境研究所「侵入データベース」

体の特徴

尾は他の中型動物よりひときわ長く体長の4割以上を占める

耳の下と目の下が白い

鼻筋にある白い線は名前の由来になっている
=白鼻芯

尻尾の先端と手足は黒い



足蹠行性 (ショコウセイ) = 足裏をかかとまでつける歩き方をする



前あし



後ろあし



足跡

吸盤のような足裏
足跡として残る指
の数は**5本**

木登り・綱わたりが得意



支柱についたハクビシンの足跡

- ・雨どいや爪のかからない支柱なども足裏の吸盤のようなパッドをつかって起用に登ることができる

- ・バランス感覚も長けており長い尾を活かして直径1mm以下の細い枝や針金を歩行できる



都市部でよく電線を渡る謎の動物が話題になるけどあれはハクビシンだよー

食性



- ・ハクビシンは**雑食性**野菜や果物を中心に食べるが、小動物、卵、昆虫等の動物性のものも食べる



- ・複雑な味覚をもっている**糖度の高い甘いものを好む**が発酵が進んでいるものは好まない

ハクビシンの食痕

フン



- ・フンの形は丸みのある棒状で大きさは5cm～10cm程度
- ・タヌキと同様“**ため糞**”
とって他の個体と共有して同じ場所にフン,尿をする

ため糞をするのはフンの匂いで食べているものや仲間の健康状態を情報交換しているからといわれている

家屋被害



ハクビシンは本来樹上で生活し樹洞で繁殖を行う
農作物被害を出している個体は、**神社仏閣**、**空き家**、**倉庫**
などを**休息**、**繁殖場所**として利用するが多い
→侵入された建物は騒音、糞尿などの汚染により建物の損傷や衛生面の悪化

ハクビシンの主な侵入経路としては

床下：湿気対策がされているなど壁内移動が可能な場所から入り込む

軒下：雨どいや電線を移動して入り込む



頭と肩が入ればどこでも侵入できるよー
垂直な隙間も足裏のパットをつかって登ることができるよー

家屋被害対策



侵入の遮断

通気性を目的に設けられている家屋の隙間は金網でふさぐ
金網は先が視えるため侵入欲求を注ぎ噛み切られることがあるので、噛み切られることのない線径が太く目合の小さいものを選ぶ

→2cm目合の亀甲金網がおすすめ

～捕獲だけではイタチごっこ～

建物に侵入をするハクビシンを捕獲をしても別の個体が侵入するので被害を繰り返す



複数頭で休息場所を利用することもあり全部捕獲をすることは難しいよー

忌避剤は…

～忌避剤（くん蒸式，くん煙式の殺虫剤等）の使用～

建物から追い払う効果はあるかもしれないが，住みやすい場所がある限りまた侵入を許してしまう

～光・音・匂い・置物などの追い払い機器～

一時的な効果があることもあるが，環境の変化に警戒しているだけで，環境に慣れてくるとまた被害が出始める



光・音・匂い・置物
自体を嫌っているわけ
ではないよー

根本的な解決にはならない

農作物被害対策

ハクビシンへの有効な対策として電気柵があり

①鼻の高さに合わせて感電させる

②登らせて感電させる

の2つのタイプがあります

①



②



①タイプ



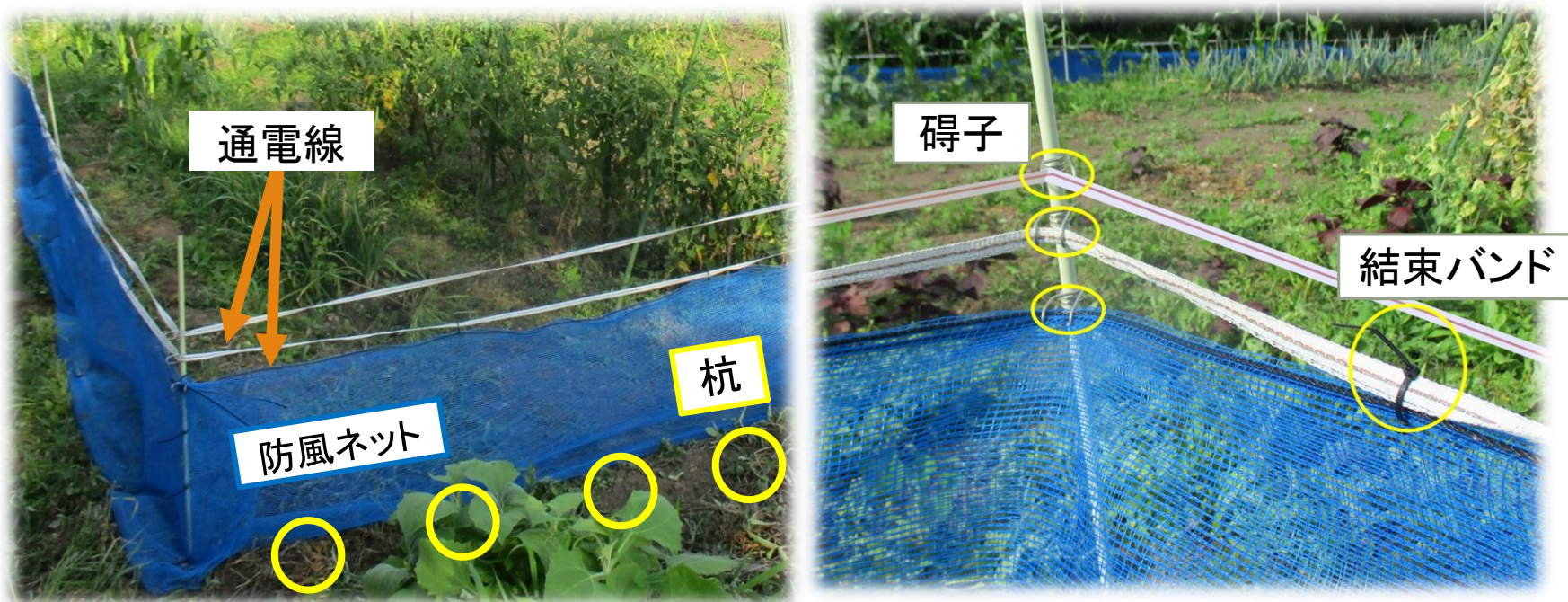
ハクビシンに対応した電気柵

①のタイプは一般的な電気柵のタイプで、獣の鼻の高さによって通電線の張る位置や段数を変えます。

例：イノシシは地面から20cmの等間隔で2段

ハクビシンの場合、通電線は4段で10cmの等間隔で設置します。

②タイプ



ハクビシンをネットに登らせて通電させる仕組みです。
下部に防風ネット（40～50cm幅）を碍子に引っ掛けて張り、
上部を通電線2段（ネットから5cm間隔）にします。

ネットと通電線の間は結束バンドで繋ぎ、下部がネットのため杭を打ちます。

※40～50cm幅のネットがなければ、1m幅のものを1回折りたたみ使用します。

見落としやすい



ごはんがすぐ食べられる
好条件な物件どこかな...

知らない間に住みやすい環境になっていることも...

処理していない収穫残渣

人間にとっては被害にならないが餌を提供していることになる

→侵入防止柵の内側に置く、コンポストを設置する、土に埋める処理をする

生活ゴミ

ジュースの空き缶に残っている汁は甘く、甘党のハクビシンが匂いで誘引される

→水で洗って捨てる、ゴミ出しルールの徹底

見落としやすい

干し柿

ベランダに干している干し柿は登ることが得意なハクビシン、サルの餌となる

→家屋被害がある場合は特に家にいない間は家の中に入れるなど長い間放置しないようにする

ペットフード

野良猫に与えているペットフードはハクビシンやタヌキなどの中型動物を誘引する。また、野生動物にエサを与える行為は野生動物同士、自宅のペット、ヒトの病気の交流のきっかけをつくる

→野生動物にエサを与えない



毎日同じ場所に置いてあっても新しいものに変えてくれるからすきだよ

捕獲について

個人で捕獲を行う場合は下記事項に注意して捕獲, 適切な処分を行ってください。

原則鳥獣を捕獲するには狩猟免許と許可が必要になります。ただし, 農作物被害または家屋被害がある方で狩猟期間内 (11月15日~2月15日) の自己敷地内であれば免許不要・許可不要でハクビシンの捕獲を行うことができます。
※捕獲後の処分については捕獲者が責任をもって行い, 直接クリーンセンターに搬入してください。(集積場は不可)

おわり



写真提供：NPOおーでらす